



News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 456号

2012.11.8
毎月1回発行

発行責任者
岸田 義典

目次

2012

10月号

- 欧州の野菜・果樹機械 2
(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 生物系
特定産業技術研究支援センター 農業機械化研
究所 園芸工学研究部 野菜収穫工学研究
研究員 青木循
- 国際農業博覧会：韓国 7
(株)石村鉄工 石村聡英
- 国別輸出入 (2012年8月)..... 9
- WORLD NEWS..... 14
- EVENTS CALENDER..... 16

南欧の野菜・果樹機械

(独) 農業・食品産業技術総合研究機構
 生物系特定産業技術研究支援センター 農業機械化研究所
 園芸工学研究部 野菜収穫工学研究 研究員 青木循

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 457 回海外農機事情報告会を平成 24 年 10 月 23 日 (火) に開催した。講師は、生研センター 農業機械化研究所 野菜収穫工学研究員 青木循氏。青木氏は、2012 年 5 月 9～17 日にかけてフランスおよびイタリアの農業関係研究機関、農業機械メーカーを訪問し、南欧における野菜・果樹機械の最先端技術を調査してきた。その概要について映像と共に紹介した。

要旨は以下の通りである。

はじめに

ヨーロッパにおける園芸用機械開発に関する知見を得るため、EU 最大の農業生産額を誇るフランスおよび EU 第 3 位の農業生産額であるイタリアの農業関係研究機関、農業機械メーカーを訪問し、南欧における野菜・果樹機械の最先端技術を調査したのでその概要を紹介する。

訪問先とその概要

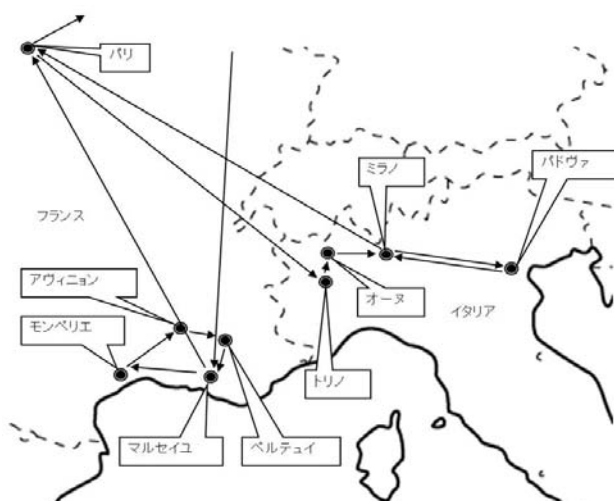
1) IRSTEA (National Research Institute of Science and Technology for Environment and Agriculture) 訪問

IRSTEA は、1981 年に Cemagref (the National

Centre of Agricultural Machinery, Agricultural Engineering, and Water and Forests) という名称で設立されたナショナルセンターで、30 周年を迎えた 2011 年 11 月に名称変更を行なった。こちらでは、まず、会議室で情報交換を行い、散布システムの農業環境評価について紹介があった。現在、フランスでは 2018 年までに農薬使用量を半減させるプロジェクト (ECOPHYTO 2018) が進められており、対象作物に付着せずに大気中や土壌へ飛散してしまう農薬量の低減や生産者の操作に由来する余分な農薬使用量の削減を目指しているということであった。また、実験施設において、ノズル液滴の粒径分布測定装置 (図 1) や大型の風洞試験装置、ブームスプレーヤーのスプレー分布測定装置、バナナの防除機 (図 2)、蚊の防除機などを見学した。

2) INRA (French National Institute for Agricultural Research) 訪問

INRA は 1946 年に設立された国立の農業研究所で、農業、食品、栄養、食品安全、環境、土地管理など、特に「持続可能な開発」を重視した研究を行っている。こちらでは、果樹の枝径をセンサで測定し、水分管理を行うシステムを見学した。枝径を



訪問先	都市名 (国)
IRSTEA	モンペリエ (フランス)
INRA	アヴェニオン (フランス)
PELLENC 社	ベルテュイ (フランス)
MONRAIL 社	オーヌ (イタリア)
HORTECH 社	パドヴァ (イタリア)